

感染症定期報告に関する今後の対応について

平成16年度第5回
運営委員会確認事項
(平成16年9月17日)

1 基本的な方針

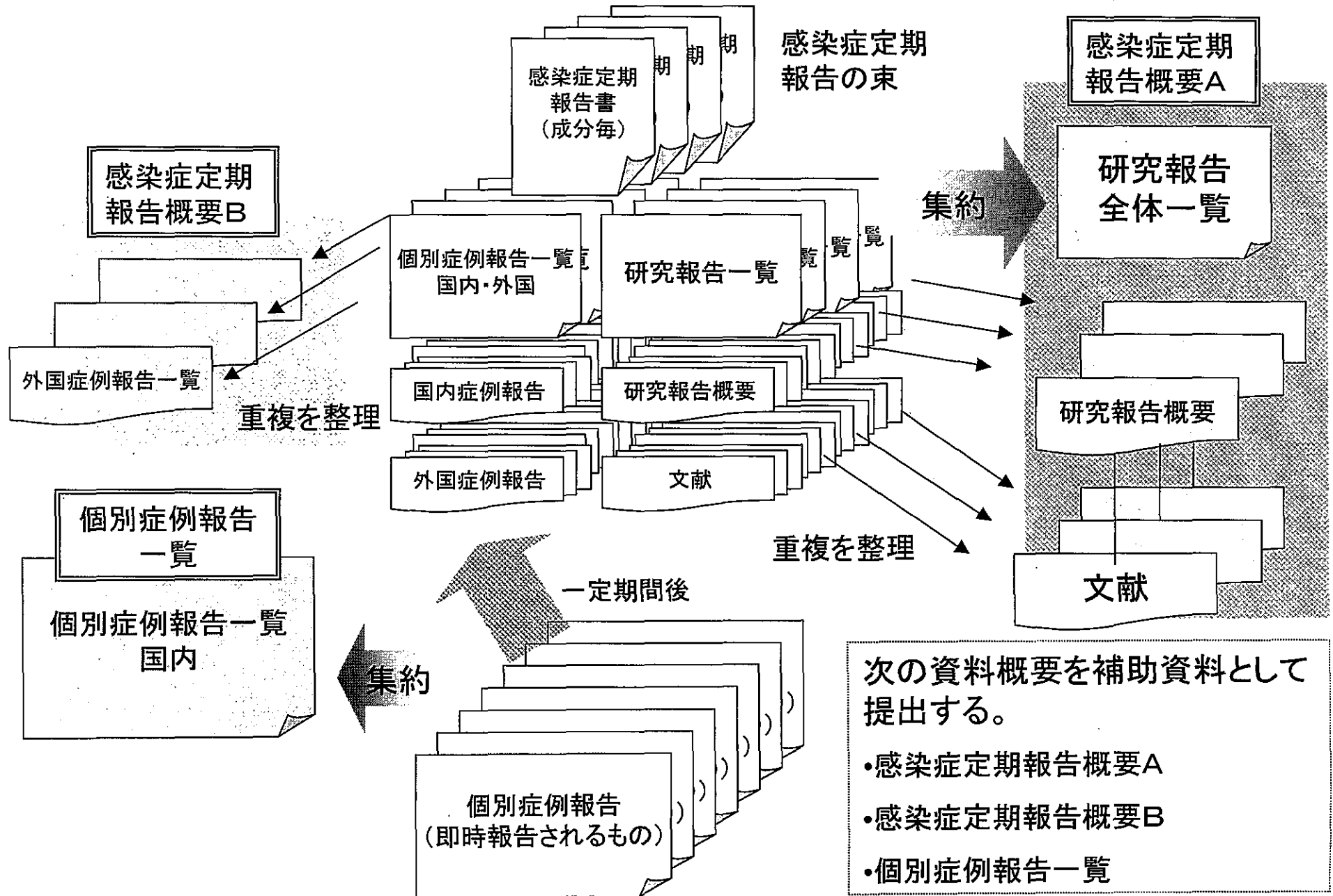
運営委員会に報告する資料においては、

- (1) 文献報告は、同一報告に由来するものの重複を廃した一覧表を作成すること。
- (2) 8月の運営委員会において、国内の輸血及び血漿分画製剤の使用した個別症例の感染症発生報告は、定期的にまとめた「感染症報告事例のまとめ」を運営委員会に提出する取扱いとされた。これにより、感染症定期報告に添付される過去の感染症発生症例報告よりも、直近の「感染症報告事例のまとめ」を主として利用することとすること。

2 具体的な方法

- (1) 感染症定期報告の内容は、原則、すべて運営委員会委員に送付することとするが、次の資料概要を作成し、委員の資料の確認を効率的かつ効果的に行うことができるようにする。
 - ① 研究報告は、同一文献による重複を廃した別紙のような形式の一覧表を作成し、当該一覧表に代表的なものの報告様式（別紙様式第2）及び該当文献を添付した「資料概要A」を事務局が作成し、送付する。
 - ② 感染症発生症例報告のうち、発現国が「外国」の血漿分画製剤の使用による症例は、同一製品毎に報告期間を代表する感染症発生症例一覧（別紙様式第4）をまとめた「資料概要B」を事務局が作成し、送付する。
 - ③ 感染症発生症例報告のうち、発現国が「国内」の輸血による症例及び血漿分画製剤の使用による感染症症例については、「感染症報告事例のまとめ」を提出することから、当該症例に係る「資料概要」は作成しないこととする。ただし、運営委員会委員から特段の議論が必要との指摘がなされたものについては、別途事務局が資料を作成する。
- (2) 発現国が「外国」の感染症発生症例報告については、国内で使用しているロットと関係がないもの、使用時期が相当程度古いもの、因果関係についての詳細情報の入手が困難であるものが多く、必ずしも緊急性が高くないと考えられるものも少なくない。また、国内症例に比べて個別症例を分析・評価することが難しいものが多いため、緊急性があると考えられるものを除き、その安全対策への利用については、引き続き、検討を行う。
- (3) 資料概要A及びBについては、平成16年9月の運営委員会から試験的に作成し、以後「感染症定期報告について（目次）」資料は廃止することとする。

感染症定期報告・感染症個別症例報告の取り扱い



感染症定期報告概要

(平成17年11月1日)

平成17年6月1日受理分以降

- A 研究報告概要
- B 個別症例報告概要

片 → 片

A 研究報告概要

- 一覧表（感染症種類毎）
- 感染症毎の主要研究報告概要
- 研究報告写

研究報告のまとめ方について

1 6月1日以降に報告された感染症定期報告に含まれる研究報告（論文等）について、重複している分を除いた報告概要一覧表を作成した。

2 一覧表においては、前回の運営委員会での報告したもの以降の研究報告について、一覧表の後に当該感染症の主要研究報告の内容を添付した。

感染症定期報告の概要(2005/6/01~2005/8/31)

受理日	血対番号	感染症(PT)	出典	概要	文献
2005/8/12	50102	A型肝炎、E型肝炎	ProMed, 2005年2月8日	黄疸(肝炎)の流行がUttam Nagar地域の一部地区で発生しており、黄疸患者約65名が2005年2月7日保健省当局チームによって確認された。情報の欠落により現時点では起因病原体の特定に至っていないが、今後汚染された水道水が感染源と証明されれば、A型肝炎または／およびE型肝炎の可能性が強まることが記載。]	
2005/6/13	50051	A型肝炎	Transfusion 2004;44(11):1555-61	供血後にA型肝炎を発症した供血者血液の輸血によりHAVが伝播した。	
2005/6/7	50055	A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN# 04-08	米国血液銀行協会(aaBB)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保健当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。	
2005/6/13	50052	A型肝炎	AABB Weekly Report 2004;10(44) 3	米国血液銀行協会(AABB)は会員に対し、共通の感染源に由来するA型肝炎ウイルス(HAV)の流行に曝露された可能性のある供血者の取扱いについて、HAVに最後に曝露された可能性がある日から120日間供血停止することを勧告する。また、供血者がHAVに曝露されている可能性がある場合には当該製品の回収の勧告について審議する。	
2005/8/12	50102	A型肝炎	Communicable Public health, Vol.7 No.4, 289-293 (2004)	South YorkshireにおけるA型肝炎症例の増加の大部分は静脈薬物を使用している若い男性であった。地域密着型の予防接種プログラム、地区の刑務所での4週間にわたる予防接種キャンペーンなどの結果、A型肝炎の増加は終息	
2005/8/12	50102	A型肝炎	MMWR, Vol. 54 No.18, 453-456(2005)	IgM型HAV抗体陽性で最近の肝炎の徴候または症状のない一部の人間については、最近の急性感染症後の持続検査陽性という理由が考えられるが、肝炎の徴候症状がない、3つの調査においてHAV抗体陽性の大部分の人間々は感染症の特定のリスクのない高令者であり、再検査を行った大部分はIgM型HAV抗体陰性。他者への感染伝播は報告されていない。よって肝炎特有の症状のない高令者におけるIgM型HAV抗体陽性試験は、偽陽性結果または最近のHAV感染症よりも数ヶ月から数年前に発症したHAV感染症の結果である可能性が高いことが示唆されたことなどについて記載されている。	
2005/8/12	50102	A型肝炎	Pro Med2004/12/27	ムルマンスク地域のApatit市民130名がA型現時点で肝炎と診断されている。患者数は日に日に増加し、疫学者らは、上水道が感染源であると示唆している。	
2005/8/12	50102	A型肝炎	Kaliningrad国営ラジオ・テレビオンライン版, 2005年1月12日	2005年1月初旬以降、Kaliningrad地域Sovetsk市において(成人・小児合わせて)約30名が、A型肝炎に罹患した。大部分の感染者は、汚染された野菜やフルーツを摂取して感染した。	
2005/8/12	50102	A型肝炎、E型肝炎	ProMed, 2005/3/28	肝炎(黄疸)の流行がBaramatiからPuneへと拡大し、Alandiの住民61名が汚染された飲料水を摂取して感染した。今回の流行は、平行して走る下水管からの漏水による上水の汚染が原因である。流行の原因としてA型およびE型肝炎が共に考えられること	
2005/8/12	50102	A型肝炎	ProMed, 2005/3/28	Hyderabad (Andhra Pradesh州)でのA型およびE型肝炎流行。2005年3月第4週に渡り、患者100名以上が旧市街の狭い地区1区のみから報告された。患者はA型およびE型肝炎と診断されている。過去数日間では、患者数は増加を続けているが、政府は、新規患者数は減少し始めたとしている。	
2005/8/12	50102	A型肝炎	http://www.itar-tass.com/eng/level2.html?NewsID=2128607&PageNum=0	ロシア南西部Tver地域でA型肝炎に罹患した住民数が、小児142名を含む547名に達したと、明らかにした。流行感染源としての汚染ビールの役割は相変わらず議論の余地があり、この感染源から感染性のあるウイルスはまだ分離確定していない。	
2005/8/12	50102	A型肝炎	http://www.phac-aspc.gc.ca/bid-bmi/dsd-dsm/nb-ab/2005/nb2605_e.html	2カ所のレストランの食品取扱者におけるA型肝炎陽性症例について通知を受け、A型肝炎12例が確認され、予防措置として保健当局はこのレストランの全ての従業員に予防接種を実施したことなどが記載されている。	
2005/8/12	50102	A型肝炎	ProMed, 2005年6月9日	2004年8月~9月に、Hurghadaのリゾート地のあるホテルに滞在した旅行者の間で大規模なA型肝炎の流行があった。オーストリア、スウェーデン、デンマーク、オランダ、ベルギー、イギリス、イタリア、スイスから患者が報告された。感染源として、朝食のビュッフェで出されたグレープフルーツジュースが疑われた事など	

受理日	血対番号	感染症(PT)	出典	概要	文献
2005/8/12	50102	A型肝炎	ProMed, 2005年6月18日	ロシア南西部Tver地域におけるウイルス性A型肝炎患者数は小児177名を含む642名に増加。A型肝炎患者と接触のあった小児2000名を含む3000名以上がA型肝炎ワクチン予防接種を受けた。	
2005/8/12	50102	A型肝炎	ProMed, 2005年6月22日	Tver 地域南西地区でのA型肝炎患者数が、小児182名を含む662名に達した。モスクワ市の衛生疫学局は、2005年5月までの期間に、小児164名を含む1130名が肝炎に罹患したと発表している。モスクワでは4月20日から6月14日の間に、小児16名を含む176名がA型肝炎に罹患した。成人157名と小児15名が入院した。	
2005/6/7	50055	B型肝炎	ABC newsletter 2004年10月22日	FDA血液製剤問委員会、HBc抗体陽性者に新たな検査方法を加え供血者のエントリーを可能とするよう勧告した。	
2005/6/17	50053	B型肝炎	American Society of Hepatology 46th Annual Meeting 2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリパセロコンバージョンとなる可能性が示された。	
2005/6/17	50053	B型肝炎	Eurosurveillance ;10(11)2005年3月17日	ベルギーとアメリカの老人ホームで採血器具の不適切な使用によりHBV感染が集団発生した。	
2005/8/12	50102	B型肝炎	Public Health Agency of Canada, 2005/3/22	ベルギーのFlandersにある老人養護施設2カ所において、糖尿病患者におけるfingerstick(血液採取用具)の複数回使用に関連した、急性B型肝炎感染症症例4例が最近発見されたこと、米国では、血糖値管理中の不十分な感染管理方法に関連した長期療養型施設の令居居住者におけるB型肝炎のアウトブレイク3件が最近報告されていること、英国の長期療養型施設における最近のB型肝炎のアウトブレイクは現在調査中であるが、伝播様式はまだまだ不明であることなどが記載されている。	
2005/8/12	50102	B型肝炎	http://www.phac-aspc.gc.ca/bid-bmi/dsd-dsm/nb-ab/2005/nb1105_e.html	血糖管理に関連したB型肝炎ウイルス感染のアウトブレイクによりCDCおよびFDAは1990年以降、指先穿刺用具の個人使用の制限を推奨してきた。最近、長期療養型施設居住者における血糖管理用医療用具の共用などによりHBV感染のアウトブレイク3件が発生した。これらについての調査および以前の報告から、基本的注意および指先穿刺用具に関する推奨は、常に長期療養型施設において実施されていないことが示唆されたことなどについて記載されている。	
2005/7/21	50074	B型肝炎	共同通信 2004年12月17日	HBV低濃度キャリアー献血者からの血液が、検査をすり抜け、輸血によりHBVを伝播した。	
2005/6/17	50053	B型肝炎	J of General Virology 2005; 86: 595-9	本邦の献血者において、遺伝子型がHのHBV事例が初めて発見され、現行のNATスクリーニングで検出された。	
2005/6/17	50053	B型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005;88(1): 10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスクドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。	
2005/8/12	50102	C型肝炎	CDR Weekly, Vol. 15 No.5 (2005)	CFIIにより調整された、第2期C型肝炎の再調査が完了した。2003年の最初の調査において、C型肝炎感染医療従事者(HCW)によりリスクの高い暴露の手技(EPP)が実施された500名の女性が調査され、調査に含まれなかった患者1例がC型肝炎と判明。今回はリスクの高いEPPが実施された住所が分かっている患者2530例および担当した一般医に対して、状況説明およびC型肝炎の血液検査を提案するレターが送付された。	
2005/8/12	50102	C型肝炎	HPS Weekly Report, Vol.39 (2005/5) 36 (2005)	NHS Ayrshire and Arran (NHSAA) はかつてAyrshire Central and Crosshouse Hospitalsの産婦人科に勤務していた医療従事者がC型肝炎と判明したことを395名の患者に通知し、血液媒介ウイルスへの感染の有無が英国諮問委員会によって実施された。通知されたグループ以外からC型肝炎ウイルスに感染している元患者が判明し、この医療従事者からの感染による可能性があることなどが記載されている。	1
2005/8/12	50102	C型肝炎	CDRWeekly, Vol. 15 No. 16 (2005)	Health Protection Agency Centre for infectionによって行われるC型肝炎複合避及調査活動において、2004年ロンドン病院の産婦人科で治療を受けた患者にC型肝炎ウイルス感染が確認され、この患者と患者を看護した医療従事者に遺伝子型が同一のウイルスが確認された。この医療従事者が働いていた1981年~2004年にこの医療従事者が関与する暴露の可能性のある処置を受けた全ての患者に対しC型肝炎検査を受けるよう推奨し、確認されている患者に対しレターが送られた。	

受理日	血対番号	感染症(PT)	出典	概要	文献
2005/8/12	50102	C型肝炎	Evening Times、2005年4月19日	ある産婦人科の外科医が最近C型肝炎であることが判明した。これに伴い、過去23年間にこの医師の治療を受けた患者にリスクがあることが通知され、女性1例が既にC型肝炎検査陽性であったことなどについて記載されている。	
2005/6/17	50054	C型肝炎	Hepatology 2005;41(1):115-22	HCVの感染は肝疾患病棟、特に長期間の入院を要する患者において、患者から患者のルートで発生しているようである	
2005/6/17	50053	C型肝炎	J of Medical Virology 2005; 75(3): 399-401	英国において、麻酔の手順上、感染のおそれがない状況下で麻酔科医から患者にHCVが伝播した最初の報告である。このことから、輸血後HCV感染症の調査には、院内感染など輸血以外の伝播ルートについて考慮する必要がある	
2005/8/12	50102	C型肝炎	Pro Med.2005/1/5	当局は、C型肝炎で死亡した患者の感染源を、負荷試験や他の通常の診断検査時に血液中に注射される放射線同位元素テクネチウム99m (99mTc)の注射が感染源であったと追跡した。	2
2005/7/21	50074	C型肝炎	共同通信 2005年4月26日	外科手術で使う血液原料をしたシートの組織接着剤でC型肝炎ウイルスに感染した疑いがある事例。	
2005/7/21	50074	C型肝炎	共同通信 2005年5月30日	HCVの混入した血液が日赤のNAT検査をすり抜けて出荷されていた。1999年の高感度検査導入以来、HCVのすり抜けは2例目。	
2005/6/29	50064	E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について	
2005/6/17	50053	E型肝炎	肝臓2004; 45 (Suppl3)日本肝臓学会 東部会講演要旨No117	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。	
2005/6/17	50053	E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。	
2005/6/13	50051	E型肝炎	Transfusion 2004;44(6):934-40	海外渡航歴が全くない67歳の日本人男性患者が、23名のドナーからの輸血を受け、その後に原因不明の急性肝炎に罹患した。急性期の患者の血液サンプルの肝炎ウイルスマーカーを調べたところ、HEV抗体のIgMとIgGだけでなく、HEVのRNAも含んでいた。また、輸血したFFPユニットの1つからもHEV RNAを検出した。患者とドナーのPCR産物は、ORF1内の2つのHEVに特長的な領域が完全な同一性を示した。	
2005/8/12	50102	E型肝炎	ProMed. 2005/3/28	肝炎患者数はBaramatiでは348名に、Alandiでは67名に増加したが、国立ウイルス学研究所(NIV)は今回の流行の原因をE型肝炎と特定した。NIV担当官は、5検体が検査でE型肝炎ウイルス陽性となったと述べ、病因ウイルスは汚染された飲料水を介して拡大したと確認した。	
2005/8/12	50102	E型肝炎	Pro Med 2005年1月7日	今年ムンバイ市内では、黄疸性E型肝炎ウイルス感染が、市の南部で猛威を振るっていると医療関係者が指摘している。	
2005/6/13	50052	HIV	The New York City Department of Health and Mental Hygiene Press Release 11 Feb 2005	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された。	
2005/8/12	50102	HIV	HPS Weekly Report. Vol.39 (2005/06) 43(2005)	ニューヨーク市保健精神衛生局(DOHMH)は、急速進行性のHIVの高耐性株である3クラス抗レトロウイルス薬耐性HIV (3-DCR HIV)株が一度も抗ウイルス薬治療の経験のないニューヨーク市民から初めて診断されたと報告した。3-DCR HIVは、最も一般的に処方されている入手可能な4種類の抗ウイルス剤のうち3種類に対して耐性を示し、HIV感染からAIDS発症までの期間が短いと考えられている。	
2005/8/12	50102	HIV	Canada Public Health Agency, Infectious Diseases News Brief.2005年2月19日	急速進行性のHIVの高耐性株が一度も抗ウイルス薬治療の経験のないニューヨーク市民から初めて診断された。3クラス抗レトロウイルス薬耐性HIV (3-DCR HIV)株は、3つのクラスの抗ウイルス剤に対して耐性を示し、HIV感染からAIDS発症までの期間が非常に短縮されているように見える。症例は40才半ばの男性。その後、患者はAIDSを発症した。HIV治療をしている患者における薬剤耐性はますます増加しているが新規診断症例で、以前に治療を受けたことがない患者における3-DCR HIV感染症例は極めてめずらしく、この薬剤耐性とAIDSへの急速な進行の組み合わせのパターンは以前の診断ではなかった。	